

常一小だより

令和3年10月1日

松戸市立常盤平第一小学校

児童数 95名

10月号

学校HPアドレス <http://www.matsudo.ed.jp/toki1-e/>

観天望気II ～対面とリモート～

校長 平松 澄明

9月半ば、ニューヨーク市の公立学校の1年半ぶりの学校再開が報じられていました。先生と子どもたちの笑顔や送迎する保護者の安心した穏やかな表情など、久しぶりの再会と対面授業への喜びが伝わってきました。「人同士の直接的なつながりの中で教育が成り立つという認識は国や文化が違って変わらない。」と実感させられる光景でした。

先月は、緊急事態宣言下での短縮日課期間を利用し「リモート学習」の試行に取り組みました。全学年・学級で実施をし、家庭はもちろんのこと放課後児童クラブや放課後キッズ等でも学習を進めたのは、市内でも最も進んだ取り組みであったようです。お陰様で、子どもたちは経験を積むことで操作能力が向上し、新しい環境に慣れて学習を進めることができるようになりました。保護者の皆様や関係法人等の皆様のご協力により小規模校の利点を生かした賜物と、心より感謝申し上げます。

2学期当初から『感染拡大防止にはリモート学習を…。』という社会全般の流れ（天気予報）がありました。それに対して「常一小はどんな状況であったのか（観天望気）」を確認しておく必要があります。今回の取り組みは、今後学級・学年閉鎖や休校措置が実施されても、常一小で「リモート学習」を実施することが可能であることを証明した一方で、課題も浮き彫りにしました。

第一は、大人のリモートワークや受験を控える中高生のリモート授業などと違い、子どもの目的意識が未熟で学習意欲を高めにくいということです。今回の取り組みでは、家庭でも先生や友だちの顔が見えてコミュニケーションが取れることに興味があっても、いざ学習となると、担任の指導が行きわたらずに意欲が薄れるのか、子どもたちの真剣さに欠ける態度や注意が散漫になって授業に集中できない様子が見られました。担任は、日頃の授業で45分間学習意欲を維持するために、多くの工夫をしています。しかし「リモート授業」ではそれに限界があり、長時間の指導には困難が伴います。

また、言葉の暴力や不適切な表現、学習に関係ないサイトへの接続などネットモラルや使用ルールの問題が指摘されているため、学校の道具でトラブルが生じないように有用な機能でも「制限」が必要となり、それが学校の授業に必要な双方向性の障害となります。

さらに、「通信環境が思わしくない」「都合があってリモート学習の様子を見守れない」「保護者が機器の取り扱いが不得意」など家庭ごとに事情があり、教室のように平等な学習環境を保障するのが難しいということもわかりました。

つまり社会が期待するほどの「リモート学習」の効果を上げるためには、乗り越えるべき問題が多くあることを再認識しました。現状では、地道な感染拡大防止策に基づいて子どもたちに登校させて対面授業を進める方が有効であると常一小は考えます。考えてみれば、新型コロナウイルスに限らず伝染性の病気の子供のための健康・衛生の管理・指導も、学級集団で学びを深めることも、今回のコロナ禍でなくても子どもたちが身につけるべきものです。コロナ禍だから「リモート学習」が必須というわけではありません。タブレットの活用は、一つの方法に過ぎないということです。

当たり前の健康・衛生の管理・指導を地道に行い、教師と子どもたちや子どもたち同士の関わりの中から生まれる学びを大切にするとともに、タブレットを学習用具として上手に使いこなせるよう指導すすめる教育活動を松戸一小さな学校で育んでいきたいと思えます。「がんばろう 常一小！」



巻き返しの10月!



宣言解除で通常日課となりました。9月の教育活動の停滞を「巻き返す」10月を目指します。そのために、学級閉鎖などがあっては元も子もありません。「with corona」の意識で衛生・健康管理が大切です。『手洗い・うがい・咳エチケット』そして自然にソーシャルディスタンスです。

ご家族を含めた健康管理と毎日の検温、健康観察カードの記入・提出への変わらぬご協力を!

先月のご協力ありがとうございました。宣言解除で規制が緩和されても気を引き締めて参ります。



学習について



- ★ 松戸市のガイドラインに沿って学習を進めます。対面指導のよさを発揮して、個の学びと集団の学びを工夫して進めます。
- ★ タブレットの活用を進め、活用能力と利用時のルールやマナーの向上を目指します。
- ★ 主体的な学びを目指して、生活や総合等で常盤平に関連したテーマの学習を進めます。

体力向上について



- ☆ 少しの運動で息が上がったり、ちょっとしたことで転びやすくなったりするなど、自粛生活で子どもたちの運動不足を実感します。体育の時間はもとより、業間休みや昼休みにも運動に親しむ取り組みを進めます。(徒歩の登下校も大切な運動機会です。ちりも積もれば…です。)
- ★ 家庭でも取り組める課題を示します。お家の方もどうぞ…。縄跳びやストレッチなど

校外学習について



- ☆ 子どもたちの学習を深め、発達課題の習得のために欠かせません。また、子どもたちにとって大きな楽しみであり、思い出づくりの場面でもありますので、何とか実施したいものです。
- ★ 今学期中に高学年の宿泊行事も含めて各学年の校外学習を実施します。
- ☆ 社会状況や目的地の感染状況・感染防止対策などについて注意を払い、実施に当たっては保護者の皆様のご意向を確認しながら進めます。
- ★ 感染状況によっては突然の中止や変更が必要となります。キャンセル料が極力発生しないように、松戸市の共用バス(借り上げバス)を活用し、目的地の施設と連絡を取っています。



部活動について

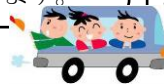
- ☆ 市内合同音楽会は、これまでのようなブラスバンドの編成ができないので、6年生全員でポディーパーカッションによるパフォーマンスを発表するように取り組んでいます。
- ★ 市内陸上大会は中止ですが、体力づくりとして「走」をテーマに陸上運動に取り組めます。



新しい保護者組織について



- ☆ これまでの組織の長い歴史を閉じて、学校支援ボランティアを中心とした新しい保護者組織の立ち上げに具体的に動き出します。
- ★ 今後開催予定のこれまでのPTAの解散に関わる紙面総会へのご協力をお願いします。



スクールカウンセラーによる相談の実施について

2学期より毎月1回、千葉県よりスクールカウンセラーが配置されることとなりました。スクールカウンセラーは、カウンセリングに関する専門的な知識と経験を持ち、相談を通して悩みや不安を軽減してくれます。お子様も保護者の皆様も相談可能です。【秘密厳守】

- 1 相談の日時 配布されたお便りでご確認ください。
- 2 相談場所 本校教育相談室
- 3 スクールカウンセラー(臨床心理士) お名前等は配布されたお便りでご確認ください。
- 4 相談内容 学校に行きたがらない 友だちや学習の悩み 子育てに関すること 等
- 5 申し込み方法 前日までに担任・教頭・養護教諭のいずれかに直接申し出てください。申し込み時に特に相談内容について触れなくてもかまいません。